

基盤地図情報を活用したビジネスモデル作り 例えば・・・

道路に沿った「住所」をつくる

平成20年2月22日

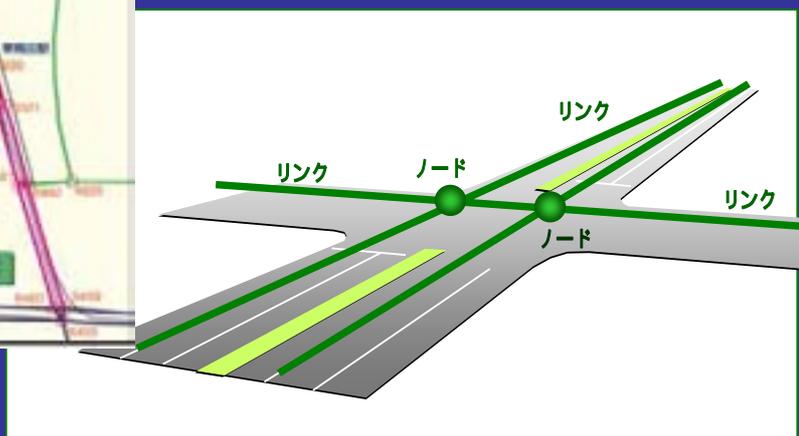
(財)日本デジタル道路地図協会

矢口 彰

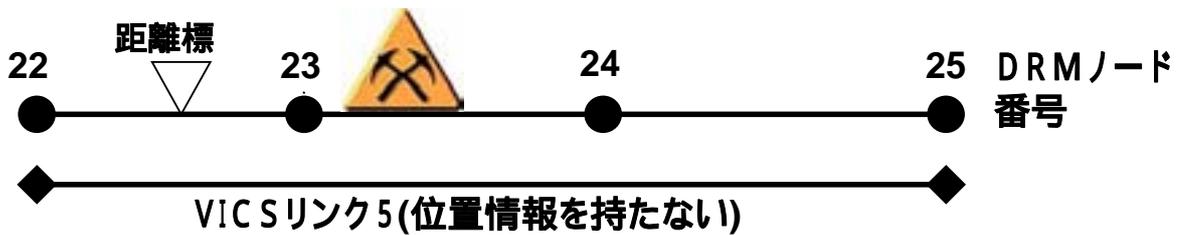
DRMデータベース

➤ 道路網を“ノード”と“リンク”の組み合わせで表現。

- ノード: 道路網表現上の結節点、交差点、道路の構造変化点、行政界との交点 など
- リンク: 道路網表現上のノードとノードを連結する線分(道路)



VICSシステムを支えるDRMデータベース



VICS情報

VICSリンク5の先頭から250mで工事



カーナビはVICSリンク番号5
DRMノード番号
自社ノード番号データで
VICSリンク5の位置がわかる



ノード番号は

コンピュータが理解できる

道路に沿った「住所」

道路に沿った「住所」でも

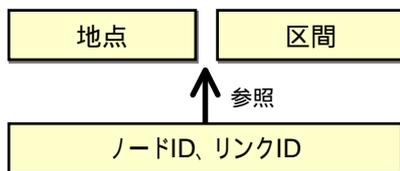
人間向きの「住所」 と コンピュータ向きの「住所」 がある

現在はノードID、リンクIDにより地点、区間の情報を表現。

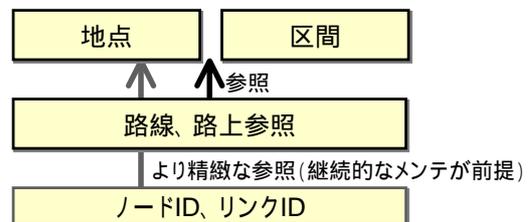


位相構造を持たない路線と路上参照点で表現。これにより、道路変化によるID変更の発生を減少させる。また、既存の方式との併用も可能。

現在

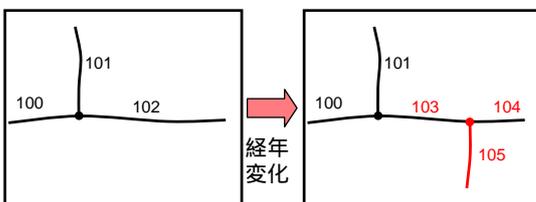


検討している方式



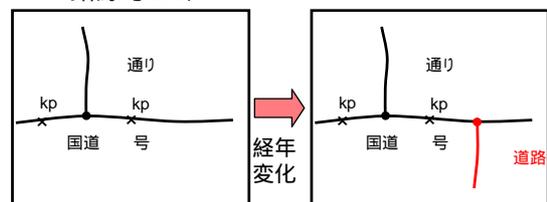
< 現在の方式 >

- ・路線の追加等に伴い既存路線についてもIDの変更が発生

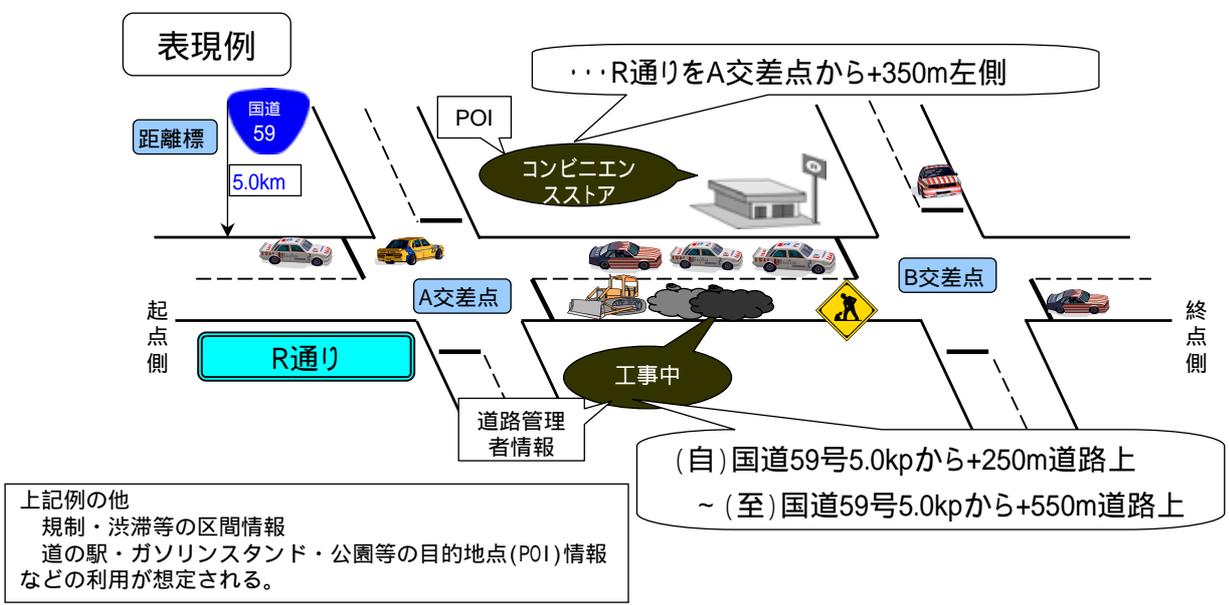


< 検討した方式 (イメージ) >

- ・路線の追加等に伴う変更は、追加した路線等のみ



- 「路線」と「路上参照点」を用いて道路上の位置を特定する。
- ・「路線」は道路管理者の定めた「路線」、あるいは、公的に起終点を規定された通称上の「通り」を一つの単位とする。
 - ・「路上参照点」は代表的な交差点や距離標等に設定することを基本とする。



**道路管理者等
と
道路利用者
を繋ぐ**

**いわば
双方向VICS
を実現**

ふるさと上越の
地理空間情報関係者の
皆様のご健闘を
祈ります。